



2018年4月2日

ネットヨタ東京(株) 高井戸店 リニューアルオープン 地域貢献で「町いちばんのお店」を目指します

ネットヨタ東京株式会社(社長 片山 守、以下ネット東京)は、リニューアルした高井戸店の営業を4月4日(水)より開始する。同店は1969年に開設、この度建物の耐震化を目的に建替えを行いました。

2015年より新宿店、TOWN PORT練馬関町、文京店、N-PLAZA足立に続くネット東京の「新しい店づくり」の考え方(6つのゾーニング)を反映した次世代店舗とし、お客様との絆づくりを進め“町いちばんのお店”を目指します。

この度、高井戸店では、ネット東京の基本理念の1つである「地域に貢献し信頼される販売店」として、更なる社会や地域への貢献を目的に災害時のあらゆる問題を想定し対応できる設備を導入しました。

具体的には、ご来店中のお客様や近隣住民、帰宅困難者の受入拠点として、杉並区と災害協定を結び以下4点を実現しています。

- ・帰宅困難者100名が収容可能なショールーム面積の確保
- ・100名3日分の食料や生活用品を常備
- ・避難場所(ショールーム内)での災害ダイヤル専用回線と電話機を配備
- ・杉並区防災センターとのホットライン用無線機の常備

また、東京都の「災害拠点強靱化緊急促進事業」の補助金を活用した設備を全国で初めて導入し、断水しても新鮮な飲料水を水道蛇口から出せ、水洗トイレも利用できる貯水機能付給水管「マルチアクア」を設置し、100名が3日分必要とされる飲料用900リットルとトイレ用540リットルの計1440リットルを確保しています。

さらに、自動車ディーラーの利点を活かし、昼夜問わず避難場所となるショールーム廊下やトイレは、停電時カーバッテリーで点灯するLED照明を建物へ設置し万が一に備えています。

店舗の外観は景観条例に基づき地域へも配慮しつつ、夜間のライティングにブルーカラーのLEDでアクセントをつけました。

4月14・15、21・22日(土日)の4日間にグランドオープンイベントを開催し、お客様へのおもてなしを実施いたします。

《店舗概要》

- ・所在地:東京都杉並区下高井戸1-17-15 ・ TEL:03-3328-3151
- ・敷地面積:1,572㎡ ・ 延床面積:1,696㎡ ・ ショールーム面積:228㎡
- ・テクノショップ:6ストール、完成検査ライン1、洗車機1
- ・駐車場:39台 ・ その他:納車セレモニーコーナー「Netz Studio」
- ・スタッフ:坂田 広明 ゼネラルマネジャー (総員15名)
 - サービスマネジャー 1名、セールススタッフ 6名、サービスアドバイザー 1名
 - サービスエンジニア 5名、フロアアシスタント 1名



《機能概要》 6つのゾーニング

1. フェイスゾーン 〈店舗の認知とアクセスのし易さ〉
 - ・ 外観：景観条例に基づき地域へ配慮しつつ、先進的で隣地まで一体感のあるデザイン、夜間はブルーのアクセント LED 照明で店舗の存在感をアピール
 - ・ 入口：分かり易い駐車場配置と、来店通知システム「D-シェルジュ」の導入によりタイムリーかつフレンドリーなお出迎えを実現
2. エントランスゾーン 〈ご来店のおもてなし〉
 - ・ 来店予定客の電子ウェルカムボードによるお出迎え
 - ・ D-シェルジュのおもてなし機能により、店舗内のお客様対応情報をスタッフで共有
 - ・ デジタルサイネージにより、判り易い情報提供
3. プレゼンテーションゾーン 〈分かり易く、魅力的な商品訴求〉
 - ・ 商談テーブル8席全てに32インチタッチパネル式のモニターを配置
E-Library(電子カタログ)で新車のカタログを閲覧
バーチャルショーケースで500台の中古車を検索など
魅力ある商品を画像や動画でお客様へプレゼンテーションが可能
4. コミュニケーションゾーン 〈くつろぎのひと時に様々な情報を提供〉
 - ・ 待合コーナーは、くつろぎ易くデザイン性の高いイスを選定
 - ・ 4面マルチモニターを設置し、地上波デジタル・BS放送、作業状況を知らせるCSボードやテクノショップの作業ライブ中継など、様々な情報を配信
 - ・ 大型スポーツイベント時などには4画面すべてを大画面にし、パブリックビューイングにも活用
5. サービスゾーン 〈安全・快適で環境にやさしいテクノショップ〉
 - ・ 2Fへ工場を配置し、十分な作業スペースと密閉できる空間を確保
 - ・ 安全な作業に欠かせない明るさと、空調管理、近隣住民への騒音対策にも配慮
 - ・ 収納スペースはイギリス製のオーダーメイドで、エンジニアが自慢できるストールを実現
6. ホスピタリティゾーン 〈安心・清潔で楽しいスペース〉
 - ・ キッズコーナーは、商談中の保護者が目の届く場所へ。また保護者が座れる席をコーナー横へ設置
 - ・ 人の動きに反応するAR式やタッチして遊ぶデジタルサイネージのゲームを導入。おままごとや読書ができる広いコーナーでお子様が退屈しないような工夫を施しました
 - ・ 清潔感あふれるバリアフリートイレと授乳室を完備

《その他の機能》

- ・ 「AED」を設置し、突然心停止に陥った人の救命を可能にしました
- ・ 外国人や聴覚障害者に向けたSOSハンドブックを設置。日本語を含めた10か国11言語で、イラストを用いて表記されており、指差しのみで緊急時のコミュニケーションが簡単に取れるように製本されています

このように、バリアフリーにも対応できる設備を整え、地域の安全確保に貢献しております。

外観



オープンセレモニー

